

## 連合主催 5. 15 労働者保護ルール改悪阻止を求める

### 国会前座り込み行動に参加！

#### 退職者連合も連帯、183名参加！（貨物OB会、3名が参加しました。）

連合は、労働法制改悪断固阻止するとの決意で、5月15日の早朝から衆議院第二議員会館前及び参議院議員会館前にて座り込みを行い、国会へ向けて改悪反対を訴えました。全国から連合組合員876名（退職者連合183名）が集結しました。また民主党をはじめとする国会議員も多数駆けつけ、連合とともに最後まで闘い抜くと力強く訴えました。



主催者挨拶で神津事務長は、「政府は、訳もなく際限もなく規制を緩め、ルールが曖昧なまま、簡単に“大丈夫、信じてください”などと言う。そんなもの信じられるのか！国民の不安に全くこたえていない！連合は絶対に許せない！」と訴えました。

民主党からは細野政調会長が駆けつけ「連合とともに最後まで闘い抜く。労働者派遣法案を三度目の廃案に追い込もう！」と決意表明しました。

古賀連合会長あいさつは、「この法案改悪を阻止できるかどうかの正念場だ。労働者派遣法案は悪法であり欠陥法だ。当たり前働き方ができるよう、断固阻止、断固ノーを訴えよう。労働基準法案についても年間100人近くの人が過労死している中、



まずは長時間労働をなくすべきであるのに、ホワイトカラーエグゼンプションの導入とは論外である。怒りの力、怒りの行動を結集しよう！」と力強く訴えました。

構成組織や地方連合会のみならず、退職者連合からも労働者保護ルール改悪阻止を次々に訴えました。また、民主党を中心とした国会議員も公務の合間をぬって「たしろかおる参議

院議員」をはじめとし、激励に続々と駆けつけました。

労働者派遣法の改悪及び労働時間規制の改悪阻止に向け、シュプレヒコールを国会へ向けて「派遣労働者の使い捨ては決して許さないぞ！命と健康を削る改悪は許さないぞ！雇用の劣化は許さないぞ！」等と声高く切れ間なく国会へ向けて訴え続けました。